

## 英京の一隅より

着英後既に二ヶ月、雨の四月は鬱陶敷間に過ぎ去り、後庭の新緑に初夏の日影うるはしくさし添ふ五月半ばと相なり候。町の勝手も大概は見當つく様に相なり候へ共、出不精の小生には、いつまでたちても新來の人に名所案内などは出來そうにも無之、二ヶ月の生活は、たゞ京都の生活を、塵ほこりに眼の痛む當地に移したまでにて、従つて別段倫敦面白し珍らしと思ふことにも出逢ひ申さず。大して出逢はんとも力め申さず、所詮環境にアダプトし得る青年時代の早くも過ぎ去りたることゝ少々情なく相なり申し候。

當地在住の日本人諸君は御聞き及びの通り随分多く、文部省關係の人も少からず居住致し居られ候へ共、一ヶ月餘り滞在せられし小川教授の本月八日出發せられ候後は、東西の文學部關係の人としてはたゞ東大の木村泰賢君の市外閑寂の地に居住致し居られ候と、二週間餘り以前より學士院會議に出席の途中當地にとゞまられ候東大の服部教授と丈けに候。小生も此の物價の高きはこりだらけの倫敦に未練ある譯には無之候へ共、他に參り候ては小生來英の目的を達し難く、やむなく小さくなりて如上の生活を營み居り候。

大英博物館所藏のスタイン博士の蒐集はかねて聞知致候通り貴重のもの甚だ多き様子に有之候。但し戦時中博物館がある軍事々務局として使用せられ候爲、蒐集品は一纏にして階下の一室にほりこまれ今尙整頓致し居らず、從